

---

# 無愛想転生記

嵐式

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

無愛想転生記

### 【Nコード】

N9393Y

### 【作者名】

嵐式

### 【あらすじ】

神のミスによりテンプレすぎる転生を果たした主人公チート無愛想主人公が異世界で暴れるハチャメチャ物語です

テンプレすぎるプロローグ（前書き）

どうも嵐式です

駄文ですが頑張っています

## テンプレすぎるプロローグ

「ここは・・・どこだ？」

たしかパソコンの前でゲームの攻略を見てたらいきなり地震が来て・・・

それで・・・思い出せない・・・」

「お主、すまなかった」

いきなり現れた爺さん

「だれだ、あんた、ここはどこだ」

「わしはお主の世界で神と呼ばれる者だ」

「その神がなんの用だ」

神と名乗った爺さん、普通なら頭が可笑しいと思われるが俺の体を見れば体が透けている

どうやらテンプレのような体験をしているらしい

おそらく地震で死んだのは爺さんのせいだから転生という落ちだろっ

「物分かりが早くて助かる」

「こちらのミスじゃ、お詫びとして願い事を聞いてやる」

つまりチート特典か・・・じゃあ

「容姿は銀魂の神威」

「前世の記憶あり」

「そして、あなたと同等もしくはそれ以上の能力を要求する」

「!？」

神が眼を見開いてこちらを見る  
無茶すぎたか？

が、いきなり神が笑い出した

「お主、その力をなにに使う」

「いつか自分にとってかけがえのない物ができた場合、それを守り、脅威を潰す力」

俺は他人まで守るようなアニメの主人公では無い  
俺の守りたいものを護る力、それだけで十分だ

「そうかそうか、いいじゃろう、お主の願いを叶えよう」

爺さんが言った後俺は光に包まれた

## テンプレすぎるプロローグ（後書き）

どうでしたか？

次回は本編です

それでは グッバイ（、・ω・、）ゞ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9393y/>

---

無愛想転生記

2011年11月28日00時50分発行